

担当教員 檜永真佐夫				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DRSh02	授業形態 演習	単位 2
キーワード 文化人類学、研究史		対象学年 博士後期課程 1～3 年	聴講・参加資格 総研大、他大学（注 1）	
科目名称：日本語 地域文化学特論Ⅱ				
科目名称：英語 Lecture Ⅱ (Regional Studies)				
科目の概要：日本語 文化人類学文献講読				
科目の概要：英語 Reading and Discussion on Anthropological Literature				
科目の目的： 文化人類学の文献を講読し、文化人類学の専門的な知識を向上させる。				
学習成果・習得する技能や知識： 文化人類学の専門用語と学説史に関する知識を向上させ、論文の書き方を身につける。				
成績評価方法・基準： 講読担当の章についての内容の理解度と発表の質（50%）、レポート（30%）、授業への参加貢献度（20%）により評価する。 講読する書籍は英文であるため受講には英語の読解力が必要である。また、各回の発表者は、論文の形式で、書き下ろしたレジュメを読み上げる。レポートは、授業での議論をふまえて、発表レジュメを加筆修正した完成版とする。				
授業内容： 計画：大学院演習室において、前述の書を学生全員で講読する。章ごとに担当者をきめ、内容を紹介し、意義を解説してもらう。				
日程： 月曜日 10：30～12：00、第一回は10月3日				
実施場所： 大学院演習室				
使用言語： 日本語				
準備学習： 受講者は、1. 研究テーマ、2. 本授業を受講する理由(自らの研究テーマや問題関心との関連において)、3. 本授業に希望すること、について、9月30日までにレポートを担当教員宛にメール				

にて提出すること。

以下の参考書を事前に読んでおくこと。

また次回の授業で扱う章は発表者以外も全員が読んでおくこと。

教科書・必読書：

Eller, Jack David, 2009, *Cultural anthropology : global forces, local lives*, New York : Routledge

参考書・その他の教材：

祖父江孝男 1990『文化人類学入門』中公新書

備考：

注1：当該科目を履修できるのは、総研大全学の他に下記の大学院研究科の学生に限る。

- ・京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
- ・大阪大学大学院 人間科学研究科
- ・神戸大学大学院 国際文化学研究科、人間発達環境学研究科
- ・京都文教大学大学院 文化人類学研究科